

# 教育委員会だより

## 道内最古級の上國寺本堂で 「榿ぶき」屋根の修復体験



竹クギを使って「榿ぶき」体験をする子どもたち

12月5日(日)に現在保存修理工事中の重要文化財上國寺本堂で、町内の児童12名が「榿ぶき」屋根の修復体験を行いました。

参加した児童は、初め慣れないヘルメットを着用して緊張している様子でしたが、屋根の修復を手掛ける児島工務店(岡山県岡山市)の沼澤修一さん、永原光敬さん、包國眞匠さんの指導を受けて、まるで自分たちが職人さんになったつもりで、時間が経過するのを忘れるぐらい、一生懸命に作業をしていました。



ぞーれつ!

### 丸太から板へ

丸太をナタで割って長さ30cm、厚さ3cmほどの板を作る工程を見学しました。みんなは、あつという間に丸太が割れていく様子を見て、目を丸くしていました。

### 板から榿板へ

厚さ3cmほどの板をナタで半分、7回割り、厚さ3mmの榿板が8枚できる工程を見学しました。

みんなは、このような薄い榿板を機械で作るのではなく、手作業で作るのを知って、職人さんの技に感心していました。



ナタで割って3mmの榿板に

### 「榿ぶき」体験

「榿ぶき」体験では、屋根の高さまで足場を上り、職人の包國さんが5本ほど口にくわえた竹クギを素早く榿板に差し込んで、機械のように正確に打ち込む姿に驚きの声を上げていました。



自分の名前やイラストを描いた榿板といっしょに

初めての体験では、竹クギが途中で折れたりしてうまく打つことができませんでしたが、次第にコンコン、コンコンという軽快なリズムで榿板に打ち付けることができました。また、榿板の裏面に自分たちの名前や思いのイラストを描きこみ、後で職人さんが上國寺の屋根に打ち付けてくれると約束してくれました。最後に、参加賞としてプレゼントされた竹クギと榿板を大切そうに家に持ち帰り、小さな職人さんたちの体験は無事終了しました。

## 南北海道考古学情報 交換会 I N 上ノ国

12月4・5日の2日にかけて、第三十一回南北海道情報交換会(三浦孝一代表、上ノ国町教育委員会後援)がジョイじよぐらで行われました。

参加者は、道南部の学芸員や市民サークルの皆さん約四十五名で、札幌市や美幌町その他、青森県など遠方からの方もいました。

今年は、「南北海道の擦文文化」というテーマで、横山英介氏(北海道考古学研究所)などの講演の他、今年度で道南部で実施された発掘調査の事例報告などが行われました。また、会場には道南部の擦文時代の土器が一堂に展示され、会場を訪れた人たちは熱心に見学をしていました。



講演をする横山氏

